

講座名「ドイツ初中級 ゲーテの詩と歌曲」

開講形式:オンライン

開講日程:8月31日(月)、9月1日(火)、2日(水)、3日(木)、4日(金)

開講時間:14:20-15:50

■内容

ドイツ語文法の知識があり、辞書を使いながらドイツ語の文章を読むことができる方であれば、どなたでも歓迎します。

本講座では、歌曲として作曲されたゲーテの5つの詩をドイツ語で丁寧に読み、詩の表現を理解するとともに、言葉と音楽との関わりを考えることを目指します。ドイツの詩人ヨハン・ヴォルフガング・フォン・ゲーテ(Johann Wolfgang von Goethe, 1749-1832)は、『若きウェルテルの悩み』や『ファウスト』などで知られる、ドイツの代表的な文学者です。ゲーテの詩は、文学作品として高い完成度をもつだけでなく、シューベルトをはじめとする多くの作曲家たちに歌曲創作の題材を与え、ドイツ語圏の歌曲文化において重要な役割を果たしてきました。そんなゲーテの詩を原文で読み解きながら、詩の言葉が音楽によってどのように表現されているのかを探っていきましょう。

■使用教材

本講座では、ゲーテ作詩の「野ばら Heidenröslein」「すみれ Das Veilchen」「魔王 Erlkönig」「湖上にて Auf dem See」「ガニュメート Ganymed」の5作品を扱います。それぞれの作品では、花、森、湖、光や風などの自然のモチーフが描かれています。これらの自然描写が人物の感情や作品全体の情景とどのように結びついているのか、ドイツ語の表現から読み解きます。まず、辞書を使いながら詩の語彙や基本的な文法を確認しつつ、文の構造を押さえながら読み進めていきます。そのうえで、歌曲の旋律にも触れ、ゲーテの言葉や詩のイメージを作曲家たちがどのように解釈し音楽で表現したのかを考えます。

事前にテキストをお送りしますので、一通り目を通してからご参加ください。ドイツ語や音楽に関する専門的な知識は必要ありません。辞書を使用して詩の意味が理解できれば大丈夫です。

■シラバス

第1回:野ばらHeidenröslein

第2回:すみれDas Veilchen

第3回:魔王Erlkönig

第4回:湖上にて Auf dem See

第5回:ガニュメートGanymed